



より良い登米市を目指して、各事業について評価が行われました

## 市民の視点で事業を評価

平成22年度  
登米市行政評価「外部評価」

市が行っている行政サービスなどについて、市民の視点から議論・評価する「外部評

価」が10月1、9、14の3日間、市役所迫庁舎、中田農村環境改善センター、市役所南方庁舎の3会場で開催され、その様子が公開されました。これは、市民の視点から事業の必要性やそのあり方などについて議論を行うことで、より一層の事務改善や経費などに對する職員の意識改革につなげるため、市民参加型の取り組みとして今年度から新たに実施されたものです。

評価では、初めに市職員が事業の説明をした後、評価委員が事業の「目的」や「成果」などについて質疑応答し、今後の方向性について評価をしました。

3回にわたる作業では、評価委員から「目的が多すぎてターゲットを絞りがねていないか」「漏れの無いサービスの提供をお願いしたい」など、多くの意見が出され、積極的な事業評価が行われました。評価結果については、その内容を十分検討したうえで、効果的で質の高い市民サービスの提供のため、事業の改善や見直し、予算編成などに活用されます。

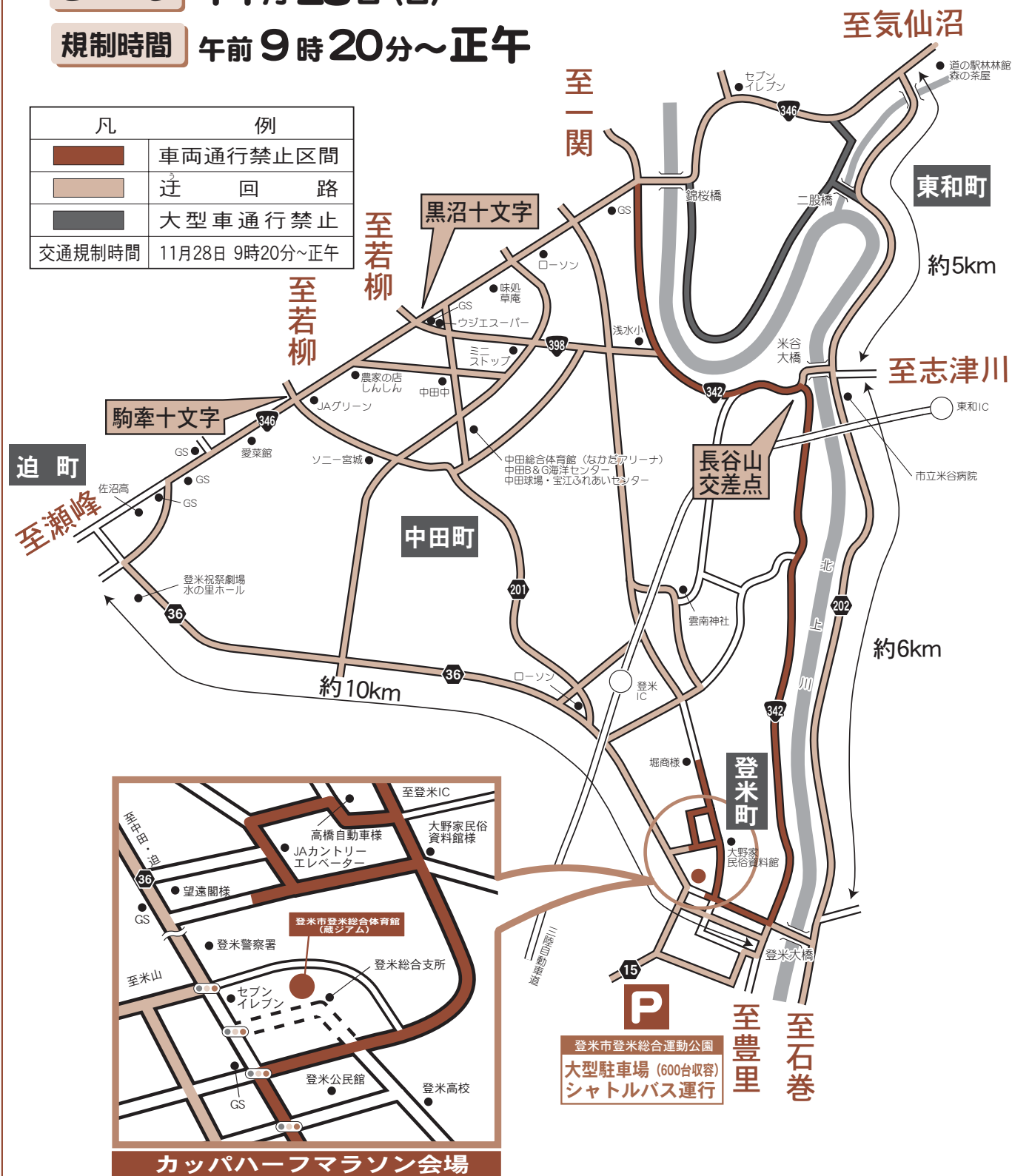
# 第25回カッパ-halfマラソン

## 交通規制のお知らせ

とき 11月28日(日)

規制時間 午前9時20分～正午

凡	例
	車両通行禁止区間
	迂回路
	大型車通行禁止
交通規制時間 11月28日 9時20分～正午	



## 幾何学アートの力を体感!

### 登米アートトリエンナーレ2010

9月1日から10月31日までの2カ月、市内7つの会場で幾何学構成アートの祭典「登米アートトリエンナーレ2010」が開催されました。

期間中会場には、市内はもとより全国から多くの人が訪れ、登米市の美しい自然や歴史ある街並みに出現した幾何学構成アートの空間を体験し、「アートの力」に触れました。

また、期間中には、ワークショップやギャラリートークなどの関連イベントにも多くの人が参加し、体験を通して幾何学構成アートを楽しましました。

この「登米アートトリエンナーレ2010」は、アートを通して人々とのつながりを生むことで登米市を元気にし、市内外の人々にアートを通じて感動と喜びを届けることを目的に開催されたものです。イベントの運営にあたっては、多くの市民の皆さんが作

品の説明や食事の提供などでサポーターとして運営に携わり、イベントを多いに盛り上げました。

初の開催となったトリエンナーレですが、「トリエンナーレ」とは、多様な国の多様な芸術に住民が触れることを目的に3年に1度開催される芸術の祭典のことで、3年後には、さらにすばらしい「登米アートトリエンナーレ」の開催が期待されます。



サポーターなどが協力し芸術作品を展示しました



期間中の食事もサポーターが支援しました



多くの観客が会場に訪れ、素晴らしいアートを堪能